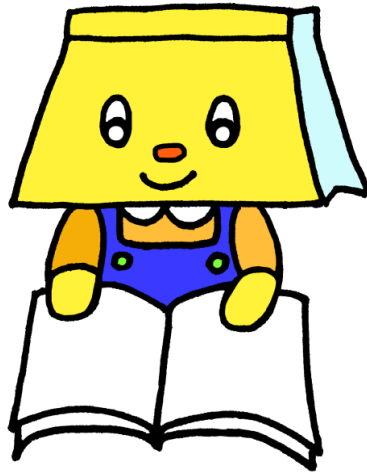


令和3年度実績報告

図書館年報



令和4年5月

大台町立図書館

目次

はじめに

1. 図書館の基本的なサービス・・・・・・・・・・・・・1

資料の公開・貸出・・・・・・・・・・・・・1

窓 口・・・・・・・・・・・・・5

館内サービス・・・・・・・・・・・・・7

Web サービス・・・・・・・・・・・・・8

2. 事業・活動報告・・・・・・・・・・・・・9

来館者事業・・・・・・・・・・・・・9

非来館者事業・・・・・・・・・・・・・19

広報活動・・・・・・・・・・・・・24

施設支援事業・・・・・・・・・・・・・28

その他・・・・・・・・・・・・・30

3. 状況報告 31

資料所蔵状況 31

利用者状況 32

年齢別地区別個人の実利用者数 34

貸出状況 35

公民館図書室利用状況 37

4. 経費・サービス指数 38

令和3年度経費 38

サービス指数 38

5. 課題と対策 39

課 題 39

対 策 40

はじめに

図書館は自ら学ぶという姿勢を支え、生活の質を向上させることができる場所です。しかしながら、上手に図書館を活用するためには、図書館が提供しているサービスを把握している必要があります。この年報では、図書館サービスをより多くの方に知ってもらうために、基本的なサービスをまとめています。

1. 図書館の基本的なサービス

【資料の公開・貸出】

図書館は自ら作成した収集方針に従って資料選択および収集を行う機関です。その収集する媒体は、紙、音声、映像、電子書籍など様々です。どんな資料を集めるか、自由に手に取って見ることができるか（開架式）、館外への持ち出しができるか（貸出可）は、それぞれの運営する館によりルールは違います。当館では、今は主に紙媒体での資料収集を行い、開架、貸出可（一部禁帯出あり）というルールで運営しています。また選書は、リクエストやレファレンスを参考に町民のニーズに対応するとともに、今後必要とされる可能性が高い内容の資料も司書が検討し収集しています。

◆収集資料の種類

新聞 朝日新聞、中日新聞、読売新聞、夕刊三重

雑誌 暮らしの手帖、すてきにハンドメイド、趣味の園芸、きょうの料理、きょうの健康、オレンジページ、Simple、歴史人、日経 PC21、AERA、週刊ベースボール、週刊新潮、SCREEN、子供の科学、婦人画報、Newton、non-no、クーヨン、NAGI、おくまの

図書 単行本、絵本、大型絵本、大活字本、ムック本、文庫本、紙芝居、郷土資料の小冊子・パンフレット・リーフレット

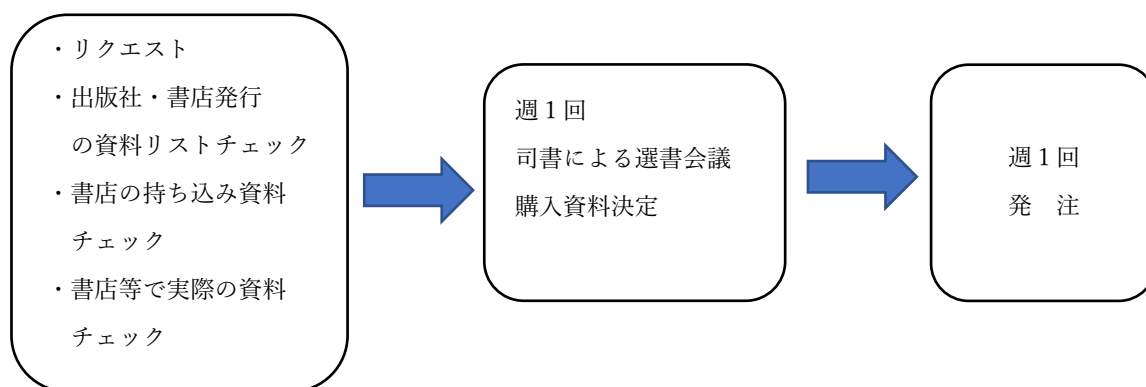
◆選書から排架まで（図書）

資料選びから棚に並ぶまでには、一定の時間がかかります。資料到着後も、司書による資料チェックを行います。新刊として発売されて間もない資料は、書店等での現物確認をする機会はほとんどなく、カタログやインターネットなどで確認できる情報にたよって選書しています。実際に目にするのは、選んだ資料が届いたときということがほとんどです。そのため選んだ資料が、どのようなレファレンスに対応できるか、この図書館では、司書が簡単に把握するための時間（1週間）を設けています。検索データだけでは対応しきれないレファレンス時に、このような日々の資料の目視が欠かせません。発行後かなりの時間が経過した資料については、必要であれば他の図書館から資料を借り受け、目視で内容を確認した上で購入決定する場合があります。

① 選書（第一段階 情報収集）

② 選書（第二段階 絞り込み）

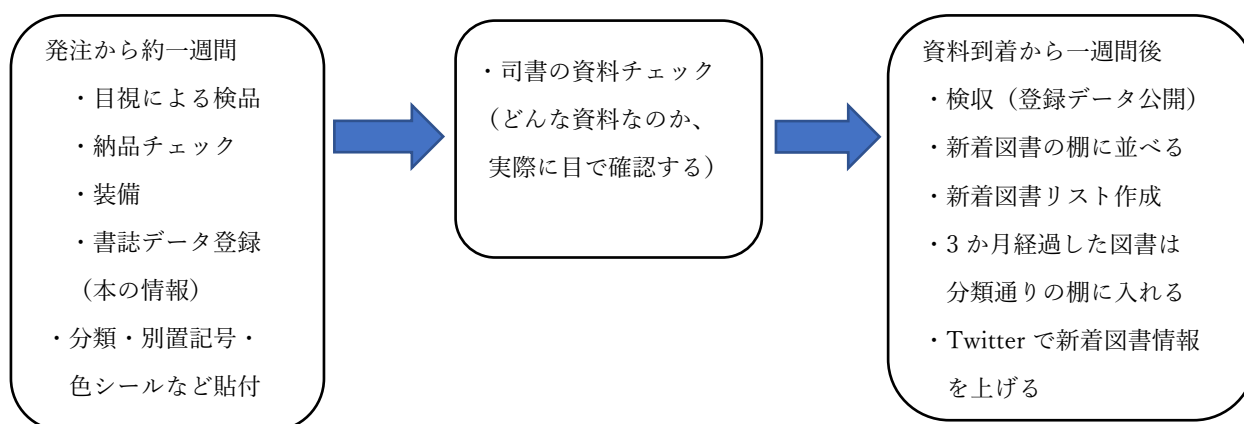
③ 発注



④ 資料が届く・データ登録

⑤ 資料チェック

⑥ 書架に並べる



雑誌は、受入処理が済み次第、速やかに棚に並べています。新聞は、受入処理はありません。最新号や最新刊の貸出や複写はできません。

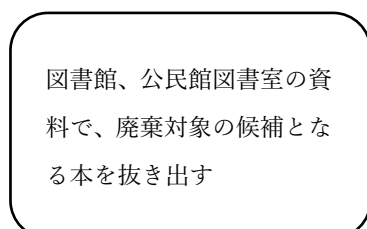
◆寄贈

「家を整理していて、もったいないので本を図書館に寄贈したいのですが」という問い合わせがよくあります。残念ですが、図書館の規模はすでに収納できる容量をはるかに超えており、毎年図書館で購入した資料を廃棄しつづけなくてはならない状態です。そのため、現在では、基本的には寄贈の受付はお断りしています。なお、未所蔵の郷土資料（大台町、周辺地域に関係のある資料）で、長期の保存に耐えうる資料であれば受入を行うこともあります。また、出版社や個人から新しい本の寄贈を受けることがあります。こちらについても、選書会議で司書が必要と判断した資料のみ受入します。

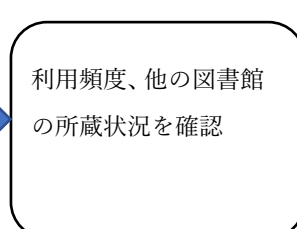
◆資料の抜き出しから廃棄まで

資料を収集し続ければ、どんな図書館でもいずれは書架が一杯になります。書庫がある場合は、ある一定時間が経過した資料はそこに収められます。しかしながら、この図書館には書庫はなく、他の図書館のように資料の保管機能を持つことはできません。そこで資料を廃棄するための基準を設けています。ただし、現在では廃棄対象年数を迎えても、資料的価値が高く利用が見込まれると判断したものは、図書館もしくは公民館図書室等に置いています。

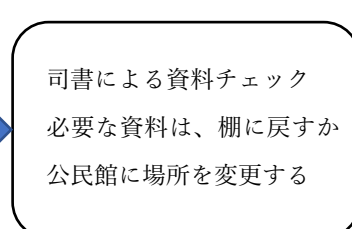
① 廃棄対象本抜き出し



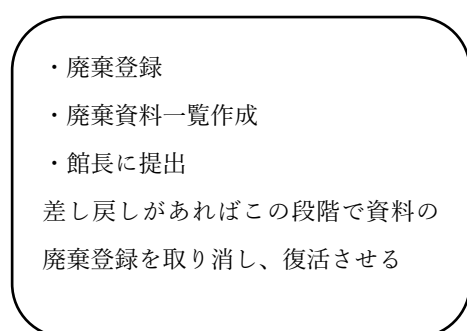
② データ確認



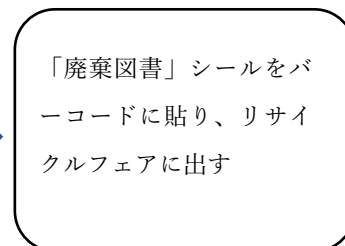
③ 司書チェック



④ 廃棄決定



⑤ リサイクルフェアで廃棄資料公開



●廃棄対象（図書資料）●

- ・受入よりおおむね8年以上経過したもの
- ・汚れ・破損が著しいもの
- ・時代的役割を終えたもの
- ・新しく版が出版されたもの
- ・百科事典で10年以上経過したもの
- ・法・税の説明で5年以前のもの
- ・スポーツ等でルールが変わったもの
- ・類似本が出版されて、資料的価値がなくなったもの
- ・館長が不要と認めたもの

雑誌は2年、新聞は3か月を保管期間としています。現在は、保管期間終了後、利用頻度の高い雑誌のみ2年間公民館で利用できるようにしています。

【窓口】

◆図書利用者カードの発行

資料の貸出を希望する場合に利用者の登録を行い、「図書利用者カード」を発行しています。利用対象者は、大台町に在住・在勤・在学の方、大紀町在住の方、その他館長が認めた方となっています。年齢制限、利用期限ともにありません。

◆Web用ログインパスワードの発行

希望者にはWebログイン用のパスワードを発行しています。

◆貸出返却の受付（貸出規則等については年報裏面に記載）

貸出と返却の受付をしています。

◆予約の受付

利用したい資料が貸出中の場合、予約をすることができ、窓口で受付をしています。

◆リクエストの受付

図書館の蔵書にない資料は、購入依頼（リクエスト）を行うことができます。

◆相互貸借の受付

図書館の蔵書にない資料は、相互貸借を行っている県内・愛知県・岐阜県・富山県の図書館であれば無料で資料を借りることができます。

予約・リクエスト・相互貸借申込書は同じ用紙ですが、一冊につき一枚ずつ記入が必要です。

予約・リクエスト・相互貸借 申込書

◆レファレンス

資料についての相談を受付けています。

- ・大台町立図書館の所蔵、場所確認
- ・他の図書館所蔵確認
- ・調べもの相談（知りたい事柄を何で調べたらよいかの相談）

レファレンスと一言でいってもその難易度は様々です。所蔵確認というすぐに回答できるものから、知りたい内容を詳しく聞く必要があるもの、調査に時間がかかるものなどもあります。回答方法は、資料の提供のみにとどまらず、インターネットも活用し、集めうる情報を収集します。

◆資料の複写受付

著作権法で認められている範囲内で図書館資料の複写ができます。

受付は窓口で行い、1枚10円で職員が複写を行います。

◆館内設備利用受付

個別学習コーナー、多目的ルーム、検索用パソコンの利用申請を受付しています。

【館内サービス】

◆検索用パソコン

1階には、インターネットが使えるパソコンが1台あります。検索の補助として、誰でも利用できますが、個人の文書やデータ作成、メール送信等には利用できません。

◆館内蔵書検索機（OPAC）

館内にある蔵書を検索することができます。2022年3月からは、検索した資料のデータをレシートで印刷することができるようになりました。さらにログインボタンを追加し、利用者個人のページをこの検索機から見るできるようになりました。

◆貸出資料のシール印刷

館内蔵書検索機でログインすると貸出中の資料を1冊ずつシールにすることができます。読書手帳等に添付し、個人の貸出記録や読書記録をつけることができます。

◆個別学習コーナー

個人で使う学習専用スペースです。席の指定番号があり、使用前に窓口で利用申請をしてから誰でも使うことができます。



個別学習コーナーの様子

◆多目的ルーム

行事が開催される部屋です。行事がない場合は、次の用途で事前に利用申請すると使うことができます。

学習グループ利用 1～数人の少人数での利用

貸切利用 利用条件を満たした団体（自主グループ、非営利団体など）の
講座や講習会、5名以上で利用の学習会や会議

ギャラリー使用 貸切にせず、壁面での展示

ランチタイム 12:00～13:00のみ食事可

◆Wi-Fi

館内でWi-Fiが利用でき、持ち込みのインターネット通信機器が使えます。

【Web サービス】

大台町立図書館には、インターネット上で図書館情報を確認できるホームページがあります。また、Twitter でも図書館の日々の情報を発信しています。

◆ホームページ

開館日、行事予定、図書館からのお知らせなどが確認できます。

また、ダウンロード用の読書手帳のデータもあります。

Twitter にログインすることなく、Twitter に挙げた情報も観ることができます。

◆蔵書検索 (OPAC)

図書館に所蔵している資料の検索を行うことができます。

◆ログイン後にできること

- ・利用状況参照

返却予定日などが確認できます。期限延長も1回限り行うことができます。

- ・予約

本を10冊まで予約することができます。

- ・新着案内配信サービス

ご自身の興味、関心があるテーマを登録すると、登録されたテーマに関する新着資料があった場合、新着情報がメールで配信される設定にすることができます。

- ・ユーザ設定

パスワードの変更やメールアドレスの登録を行うことができます。メールアドレスを登録すると、予約した資料の確認や取り置きのお知らせ、新着案内サービスのお知らせがメールで受け取れます。

◆Twitter

天候などによる急な臨時休館のお知らせや、個別学習コーナーや多目的ルームの利用状況など、いち早く伝達が必要な情報を発信しています。他にも、おすすめ本の紹介や図書館の日々の出来事も紹介しています。

大台町立図書館ホームページ

<http://www.ma.mctv.ne.jp/~odai-to/>



大台町立図書館
公式ホームページ

大台町立図書館 Twitter

@odai_to810



大台町立図書館
Twitter

2. 事業・活動報告

【来館者事業】

本を貸し出すことだけが図書館の役割ではありません。自主的学習や体験のできる場所でもあります。読書をする楽しさを知ってもらえるような企画に取り組んでいます。

◆読書手帳

読書手帳とは、本の記録をつけるための手帳です。読んだ感想を残すことで、読書習慣に繋がりがやすく、読書したという達成感を感じることができます。

また図書館では個人情報の保護という観点から、返却した本の記録は残さない仕組みとなっています。読書手帳を使うことで、自身で借りた本の記録として残すことができます。

2022年2月に図書館のシステムを5年ぶりに更新しました。これを機に、館内に設置されている館内蔵書検索機（OPAC）から、利用者がログインを行うと貸出中の本の題名等をシールとして印刷できる機能を追加しました。この新たなサービスの周知と普及を兼ねて、オリジナル読書手帳を作成しました。シールを貼る以外にも、直接手書きで記録ができる仕様になっており、ホームページからデータをダウンロードするとご家庭でも作ることができます。

今年度はこれを記念し、3月から先着100名限定（なくなり次第終了）でオリジナル読書手帳を配布しています。広報おודい、図書館だより、SNS等を通じて周知を行い、現在老若男女問わず利用してもらっています。



大台町立図書館オリジナル読書手帳と配布の様子

◆定期行事

毎月定期的に開催している行事です。

●ぴよぴよおはなし会

毎月第3木曜日に司書が行う読み聞かせの会です。毎月テーマを決め、読み聞かせや遊びを行います。未就学児を主な対象としていますが、年齢制限をしていませんので、未就園児や小学生も参加しています。

今年度の様子は、集中して静かにおはなしを聞いてくれる子が多かったです。昨年度から新型コロナウイルス感染症対策のため、開催時間を短縮していましたが、8月からは元に戻し、10分程度の遊びの時間も再開しました。子どもたちがおはなしだけでなく、遊びの時間も楽しそうにしている姿を直接目にすることができるのはこちらも励みになりました。1年間通して参加してくれた子も何人かいました。



おはなしを聞く様子



12月ポップアップカードづくりの様子

開催日時			テーマ	読んだ本	あそび	参加人数(人)		
月	第3木曜日	時間				子ども	保護者	計(人)
4月	15日	16:15~16:45	花	『のはらでなわとび』他3冊	なし	3	3	6
5月	20日	16:15~16:45	生き物	『うまれたよ！オタマジャクシ』他3冊	なし	6	4	10
6月	17日	16:15~16:45	雨	『はっばのおうち』（大型絵本）他3冊	なし	5	4	9
7月	15日	16:15~16:45	夏	『しきしきむらのなつ』他4冊	なし	9	6	15
8月	18日	16:15~17:00	おばけ	『おばけやしき』他2冊と本紹介	ようかい じゃんけん	6	4	10
9月	18日	16:15~17:00	おじいちゃん おばあちゃん	緊急事態宣言発令のため中止		0	0	0
10月	21日	16:15~17:00	ハロウィン	『おばけくんのハロウィン』他2冊	折り紙 (おばけ)	4	3	7
11月	18日	16:15~17:00	秋	『くらべっこくらべっこ』他3冊	折り紙 (りんご)	3	2	5
12月	18日	16:15~17:00	クリスマス	『ぐりとぐらのおきやくさま』他3冊	ポップアップ カード	8	5	13
1月	20日	16:15~17:00	冬	『おんなじおんなじももんちゃん』他3冊	折り紙(おに)	4	3	7
2月	17日	16:15~17:00	食べもの	『にんじんだいこんごぼう』他3冊	折り紙 (お餅)	6	5	11
3月	17日	16:15~17:00	春	『はらべこあおむし』他3冊	折り紙 (チューリップ)	5	4	9
計	11回					59	43	102

●ぷらっと

気軽に集うことができる場や、新たな図書館での過ごし方を提供するため、普段から図書館を利用しない方でも「ぷらっと」気軽に立ち寄れる場所を作るために開始しました。毎月第2木曜日の14:00～15:30にテーマに沿った行事を行っています。

今年度も新型コロナウイルス感染症対策により、事前申込制にて開催しました。毎月楽しみに来てくださる方も増え、「ぷらっと」が定着してきたように感じています。

6月・2月の新聞エコバッグや12月のお正月飾り作りなど、何かを作成する回はとても人気で、申込受付開始から10分以内に定員に達することもありました。

普段は女性の参加者が多い中、8月の熊野古道をテーマにした回は男性の参加者が多く、郷土のことに興味も持ってもらえたと考えています。男女関係なくどなたにも気軽に参加してもらいたいため、幅広く興味を持ってもらえるテーマを設定できました。



12月 お正月飾りをつくる様子



7月 「終活」について学ぶ様子

開催日 (14:00～15:30)		テーマ	サブテーマ	内容	参加人数 (人)
月	第2木曜日				
4月	8日	図書館	スマホを使って図書館を知ろう！	スマートフォンから本の検索や予約の登録を行う	4
5月	13日	健康	骨粗しょう症を予防しよう！	管理栄養士原田新吾先生による講話、司書による本紹介	11
6月	10日	SDGs	新聞でエコバッグを作ろう！	『まさこおばちゃんの新新聞エコバッグの作り方』より大小2種類作成	6
7月	8日	暮らし	最期を考えてみませんか	保健師村田恵美先生による終活についての講話と「もしバナゲーム」の実施	9
8月	12日	大台町	大台町の熊野古道を知ろう	ふるさと案内人の会代表筒井敏さんによる熊野古道についての講話	7
9月	9日	室内ゲーム	図書館であそびませんか？	緊急事態宣言発令のため中止	0
10月	14日	読書会	お気に入りの本、教えてください！	参加者1名のため中止（申込者が当日参加しない）	0
11月	11日	健康	めざせ、免疫力アップ！	管理栄養士原田新吾先生による講話、司書による本紹介	7
12月	9日	年末年始	折り紙でお正月飾りを作ろう！	『身近な紙を折って貼り合わせて作る！紙のパッチワーク』よりお正月飾りを作成	6
1月	13日	防災	被災しないためにはどうするの？	奥伊勢消防署・林森典さんによる防災についての講話、司書による防災工作	6
2月	10日	SDGs	新聞でエコバッグを作ろう！（再）	大人気だった6月の新聞エコバッグをもう一度行う（参加者を変えて）	5
3月	10日	認知症	楽しく予防しよう！	保健師村田恵美先生による認知症についての講話、司書による折り紙	6
計	11回				67

●おはなしプーさん 読み聞かせ会（この部分は代表小野清美様にお願いしました）

毎月第2土曜日 10:30～11:00 の30分間、ボランティアグループおはなしプーさんが読み聞かせ会を開催しています（定例会と呼んでいます）。3人の当番が季節のお話を中心に、その日訪れた子どもの年齢等を考慮して本を選んで読みます。7月・12月のイベント月には1時間に時間を拡大しています。絵本のほか紙芝居や大型絵本、手遊びやエプロンシアターなども取り入れ、盛りだくさんの内容を参加者全員で楽しめます。プーさんから手作りのプログラムやお菓子のプレゼントもあります。

今年度も定例会は新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、参加者は少数でした。準備して待っていても参加者がいない月もあり、がっかりすることもあります。しかし楽しみに通っていただいているご家族もあり、会員一同、開催できる月は頑張ろうと話合っています。イベント月は大勢の親子で賑わいます。その方々を何とか定例会にも呼び込めないかと知恵を絞っているところです。読み聞かせ会を通して社会とつながり、熱心に絵本を見つめる子どもたちの姿に、読み手である私たちが活動できる喜びや元気を与えてもらっています。会員の高齢化や参加者の減少など問題は山積みですが、絵本そのものの力を信じて今後も取り組んでいきます。そして、会員一同、仲良く楽しく長く活動していきたいと思えます。



第2土曜日 定例会の様子



イベント月の様子

◆その他の行事

毎年取り組んでいる行事とその年度のみ開催する行事があります。

●リク★マツ

リク★マツとは、図書館の利用が少ない YA（ヤングアダルト）世代の図書館利用促進を目指して、この世代からのリクエストを募集する企画です。リクエストのあった本を選書会議で検討し、選書基準から外れないかぎり積極的に購入しています。この企画により、より親しみやすい YA コーナーづくりとその周知を行っています。

※YA（ヤングアダルト）とは、10代の若者を指しています

募集期間 2021年6月18日（金）～7月30日（金）

応募方法 リク★マツ専用リクエスト用紙に記入し、応募箱に入れる

告知方法 図書館だより YA 版に掲載、ポスターを図書館と大台町内小中学校及び
昂学園高等学校で配布

応募総数 12 件

結 果 4 タイトル 19 冊

『アイロンビーズで作るすみっこぐらし』 大倉ちはる//著 ブティック社

『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』

森田碧//著 ポプラ社

『わたしの幸せな結婚』1～5 巻 顎木あくみ//著 KADOKAWA

『美少年探偵団 きみだけに光かがやく暗黒星』

西尾維新//著 講談社ほか美少年シリーズ

(既刊 12 巻)



選ばれた本の一部

今年度で 4 回目の開催であり、対象となる世代の企画に対する理解も広まっていると思います。中には娯楽要素の高い漫画など、選書基準を満たさないものがリクエストされることもあり購入しないこともあります。この企画によって、今の YA 世代の実際の好みを把握することができ、YA コーナーを充実させることに役立っています。

●子ども司書体験

図書館の仕事に興味を持ってもらい、図書館に対する理解を深めてもらうことを目的として、小学生を対象に実際の図書館業務の模擬体験をしてもらいます。

開催日時 2021年8月20日(金) 9:45~15:00

2021年8月21日(土) 9:45~15:00

応募人数 各若干名

対 象 大台町・大紀町在住の小学4~6年生

参加人数 20日3名 21日2名(21日は事前キャンセルが他1名あり)

参加賞 修了書と図書館グッズ

内 容 図書館業務

(貸出・返却業務、返却図書の配架、本の紹介POPづくり、
レファレンス体験、本のコーティング体験)

※レファレンスとは、利用者の調べもの相談です。

本探しや知りたい情報を手に入れる手伝いをします。

レファレンス体験は、所蔵する本の場所へ案内する簡単なものから、利用者の覚え間違いなど不確かな情報から本を探すかなり難しいものまで、難易度を3段階に設定して挑戦してもらいました。また希望者には、自分の本を持参してもらい、その本に透明なコーティングフィルムを貼り付ける体験も実施しました。

カウンター業務以外の図書館業務は、利用者からは見えにくく、あまり知られていない部分です。それらを実際に体験してもらうことで、図書館での仕事、ひいては働くとはどういうことかを理解する一助になるような行事だったと思います。



自分の本にコーティングフィルムを貼る様子



窓口業務の体験をしている様子

●映画鑑賞会

新型コロナウイルス感染症が拡がり、出かける機会が社会的にも減っていました。図書館も様々な行事が中止や延期になり、映画であれば参加人数を制限して静かに鑑賞できるのではないかという考えのもと、2020年度から始まっています。

開催日時 2021年12月18日(土)

第1部 11:00~12:10 (幼児・児童対象)

第2部 14:00~16:30 (一般対象)

参加方法 事前参加申込制 定員各12名程度

DVDは三重県視聴覚ライブラリーより借受

対象	作品名	紹介した本	参加人数
第1部 【幼児・児童】	『おれたち、ともだち』 『にじいろのさかな』	《テーマ》ともだち ・ふたりはともだち ・11ぴきのねこ ・火曜日のごちそうはヒキガエル ・くまのコールテンくん ・こんとあき ・くろくとちいさいしろくん ・長くつ下のピッピ	5組 15名
第2部 【一般】	『マダム・イン・ニューヨーク』	《テーマ》ことば ・日本人の知らない日本語 ・わたしの外国語漂流記 ・翻訳できない世界のことば ・明日のカルタ	10名

今年度の幼児・児童対象の鑑賞会は、上映だけで1時間あり、静かに見入っていました。子どもにとっては長すぎたかもしれません。次回以降は上映時間を40分程度で行う方がよいと思いました。一般対象は現代的な作品を選びました。色々考えさせられることも多かったので、上映後は、参加者同士で感想を話し合う姿も見られました。紹介した本を借りていくなど楽しい時間を過ごしてもらえたようでした。



上映終了後ブックトークの様子

●借りる！図書館福袋

福袋にふさわしい新春のテーマに沿った本を選んで提供することで、図書の有効活用を図ることがねらいです。利用者が普段選ばない本を手にする機会でもあります。

- 期 間 2022年1月5日（水）～なくなり次第終了
- 福袋準備数 幼児5セット、小学校低学年4セット、小学校高学年4セット
YA（ヤングアダルト）2セット、一般5セット 計20セット
- 福袋仕様 中身が見えないように本を包装します。借りたい人は、福袋に貼られている対象年齢とテーマを元にして選びます。
- リスト作成 福袋に入れたすべての本のリストを作成し自由に持ち帰りできるようにしました。

例年3～4日で終了するのですが、今回は、最初の休館日を過ぎても残ってしまいました。ただ、置き場所を変更したところ、全て貸出になりましたので、置き場所の問題もあったのかもしれませんが。また、今回で5回目の開催であり恒例行事ということから、昨年と同じように用意をしていましたが、利用者にとっては新鮮味が感じられなかったのかも知れません。2月になってから、借りた本についての問い合わせがありました。ブックリストを作成していたので回答することができました。

同じように取り組んでいる館も増えてきました。テーマの表示やコーナーの作り方など他館の例を参考にして、次回に臨みたいと思います。



福袋コーナー設置の様子

●リサイクルフェア

図書館での保管期間の過ぎた本・雑誌を無料でプレゼントする企画です。

開催期間 2022年3月19日(土)～4月4日(月)

入場整理券配布 19日・20日分のみ 1回25分間 10人まで

配布開始 2022年3月5日(土)～

持ち帰り冊数 一人10冊まで(3/30～冊数無制限)

リサイクルフェアの対象となる本

- ・廃棄対象となる本で2021年3月までに廃棄申請を提出した本・雑誌
- ・寄贈として送付されてきたが受入対象とならなかった本
- ・荻原公民館のデータ未登録本
- ・2020年度リサイクルフェアの残りの本・雑誌

整理券の準備数に対して前日までに整理券を受け取りにきた人は少なかったです。

当日まで残っていたので、その日に受け取って入場した方もいました。

周知効果の高い回覧板にもチラシを入れましたが、配布開始より三日後から「チケットまだある？」という問い合わせが複数ありました。回覧板が各家庭に回るタイミングから考えて、整理券の配布日を一週間後の12日の午後からにすべきだったと思いました。

ただ、今回は平日でも来場者が例年より多かったので、リサイクルフェアが開催されていることはある程度周知されており、また混雑を避けての来場という意識も浸透しているのではと感じました。

【集計結果】

開催日数	整理券配布数	来場者数	持ち帰り冊数
13日	112枚	220人	1270冊

整理券 2日間32コマ 計320枚(19日85枚 20日27枚利用)

開始前日までに整理券がなくなったコマは、初日スタートから5コマのみ



入場整理券配布の様子



リサイクルフェア会場の様子

◆展示・ギャラリー

多目的ルームをボランティアグループ等に無料で貸し出しています。部屋を貸し切ったの展示、壁面だけを利用してのギャラリー使用ができるようにしています。これにより、普段図書館に足を運ばない方も気軽に図書館を訪れる機会となっています。

●多目的ルーム ギャラリー使用

展 示 名 宮川大好き！PR計画～たから人との出会い・関わりを通じて～

展 示 期 間 2022年1月11日（火）～2022年1月23日（日）

開 催 団 体 宮川小学校6年生

展示紹介文 宮川「たから人」とは、宮川地域を大切に思い、地域のために活動が続いている素敵な人のことです。私たちは、地域の「たから人」の方々の活動や思いから学んだことをパンフレットにしました。地域の「たから人」から学んだことを活かして、自分たちが住む宮川地域の魅力をたくさんの人に伝えて知ってもらいたいと思っています。

※当館主催の展示ではないため、来場者カウントはしていません。



展示の様子

【非来館者事業】

直接来館をしなくても、図書館の本を利用できるよう事業を継続して行っています。

◆お出かけブックン

図書館まで来館することなく、公民館窓口でも図書館の本が受け取れるように、定期的に司書が巡回しています。個人利用者から依頼のあった予約本の配送、返却本の回収、予約用紙の受け取りとともに、各施設に貸し出す団体貸出の本も配送しています。

巡回日 毎週水曜日午後

※実績数は、「非来館者の貸出方法の内訳」をご参照ください。

◆施設向け団体貸出

要望のあった町内の施設に司書が選んだ本を定期的に貸出しています。
配送を希望する施設には、お出かけブックンで配送しています。

●町内保育園・小中学校向け団体貸出

保育園 選書 保育園セット 13 セット（1 セット 50 冊）事前準備

入替 月 1 回

その他の要望対応 毎月 20 冊まで可 要望に応じて司書が選書

小学校 選書 各校毎月 20 冊（6～7 クラス分）を選書

入替 年 10 回

その他の要望対応 「伝言板」としてリクエストを記入してもらう用紙あり
授業等やブックトーク等で必要な分は別で必要数を準備

中学校 選書 要望のあった学校・クラスに 10～20 冊を選書

入替 年 10 回

その他の要望対応 授業等やブックトーク等で必要数を準備
団体貸出に入れてほしい本のリクエストにも対応

●町内社会福祉施設向け団体貸出

今年度7月または8月より実施

利用施設数 2団体

利用冊数 計440冊

選書 内容や冊数について施設担当者と打ち合わせ後

20冊～40冊程度を準備

入替 月1回

施設利用者の方に施設内で読書を楽しんでもらうために行っています。本の種類や内容については利用者の状況に応じて柔軟に対応しています。

●公民館図書室向け団体貸出

より身近な場所で本を利用できるように、日進公民館と健康ふれあい会館の図書室には、各館置きの本がすでにありますが、お出かけブックンの配送巡回時に隔月で新刊本、毎月のテーマなど170冊程度を入れ替えています。

◆ブックスタート

ブックスタートは、0歳児検診などの機会に、絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。赤ちゃんの幸せを願い、行政と市民が協働する自治体の事業として、全国で行われています。

大台町では町民福祉課が主催し、4～5ヶ月児が対象で、絵本をきっかけに親子で楽しい時間を過ごせるよう図書館司書から個別にアドバイスを行います。

主 催	町民福祉課
内 容	絵本をきっかけにして、親子で楽しい時間を過ごしてもらう 絵本を2冊プレゼント
対 象	4～5ヶ月児
依頼方法	ブックスタートの講師派遣依頼を受けて司書が出張する
場 所	子育て支援センター（大台町健康ふれあい会館内）
開催日時	「のびのび相談」開催時 一組10分程度
参加組数	30組

絵本をきっかけにした親子の時間について話をする際に、まず家庭での様子を伺い、兄弟姉妹との関係や主に保育をされる方の生活パターンに合わせて、絵本のある暮らしについて提案しています。すでにブックスタートを受けた子どもがいる保護者の場合は、その子どもたちの様子について伺うこともあります。プレゼントした絵本をボロボロになるまで何回も読んだという話を聞くこともあります。

◆どくしょ便

コロナ禍において、主に高齢者や交通弱者が自宅で少しでも快適に過ごすため郵送サービスを行いました。この事業を実施することで、不十分である高齢者や障がい者に対する図書館サービスの問題点や改善点も明らかにして、今後の図書館運営への検討材料としました。

提供期間	2020年10月1日～2021年12月1日	
内 容	レターパックプラスでの郵送による貸出・返却を行う	
対 象	大台町在住で来館が困難な方	
依頼方法	事前に渡したどくしょ便リストや蔵書検索から本を選び、 専用の依頼書を FAX または郵送で受付	
利用結果	依頼受付	97回（返却のみ2回も含まれる）
	貸出冊数	187冊

事業の周知や利用申請手続きについては、利用者は高齢の方がほとんどのため、直接利用者に関わりがある機関との連携が不可欠でした。そこで、大台町地域包括支援センターと大台町社会福祉協議会の関係者に協力をお願いしました。介護職の方々は、利用者の生活の質の向上を大切に考えており、貴重な意見をたくさん頂きました。また、利用者本人から、読んだ本の感想や感謝の言葉を手紙などで何度か頂き、とても励みになりました。図書館に来たくても来られない方や、図書館にどんな本があるかを知りたいけど、インターネットを利用しないので知る術がない町民のために、図書館でどのようなサービスができるか、館内で再考するよい機会となりました。

公民館図書室への巡回や大台町社会福祉協議会へ協力を依頼するなど、今後も施設職員への連携協力を図っていきたいと思います。その第一歩として、継続して図書館の本を利用したいというどくしょ便利用者のために、お出かけブックンの立ち寄り場所に社会福祉協議会を加え、そこを窓口として本の受け渡しを始めました。



本を緩衝材で梱包し、濡れ防止のためにビニール袋に詰めました。次回の依頼書・返却予定日・返信用レターパック・図書館だよりなどのお知らせを入れて送りました。

◆ブックンぶんこ

学校図書室内で大台町立図書館所蔵の本を閲覧・貸出できるようにしました。学校図書室の利用促進とともに、図書館を普段利用しない児童にも図書館の本を活用してもらう機会にしました。

前年度に図書館に割り当てられたパワーアップ事業の図書予算から、このブックンぶんこのために選書して購入をしました。そして、今年度から運営を開始しました。

運用期間 2021年5月～2022年2月
貸出セット数 1セット 50冊×小学校4校

【貸出実績】

小学校名	貸出冊数	貸出の多かったシリーズ名・書名
日進	76冊	「大長編ドラえもん」、「ガジェット発明ヒカル」
川添	21冊	「わたしの美しい庭」、「ミスターワッフル！」
三瀬谷	84冊	青鬼シリーズ、おさるのジョージシリーズ
宮川	94冊	鬼滅の刃シリーズ、青鬼調査クラブシリーズ

選書には、授業には必要でも学校の図書費ではなかなか買えない本や、子どもたちに読んでもらいたいと思う本、子どもたちの間で人気のある本などを中心に選びました。

人気のある本は何度も借りられていました。



三瀬谷小学校図書室の
ブックンぶんこの様子

【広報活動】

◆図書館だより

毎月図書館だよりを発行しています。開館予定、行事のお知らせ、イベントの様子などの図書館に関する情報と毎月のテーマコーナー本や新着本などの本紹介を行っています。図書館以外に、お出かけブックンの際、各公民館図書室や各施設に配布しています。



発行 毎月1日
通算 94号 (2021年3月)
発行部数 約250部

◆図書館だより YA版

※YA (ヤングアダルト) とは、10代の若者を指します

読書離れが進んでいると言われている10代の図書館利用を促進し、読書推進につなげるために図書館だよりを2018年より発行しています。図書館の利用案内や活用法をはじめ、10代におすすめ本の紹介などを掲載しています。また、YA世代対象の行事「リク★マツ」の募集や「リク★マツ」で選ばれた図書を紹介などにも活用しています。町立図書館で配布のほか、町内小中学校、昂学園高等学校図書室でも配布しています。



発行 年2回
発行部数 約300部

◆ホームページ（【Web サービス】参照）

◆Twitter（【Web サービス】参照）

◆広報おおい

「広報おおい」に図書館のコーナーがあります。図書館が情報発信する媒体として各戸配布される唯一の存在です。行事のお知らせだけでなく、図書館を利用したことがない町民の方にも図書館とはどんなところか知ってもらおう場として活用しています。

◆行政チャンネル おーちゃん「図書館だより」

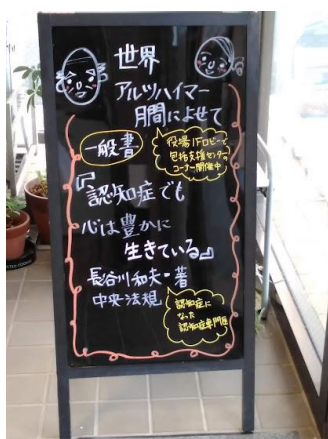
司会者とともに月替わりで司書が出演し、図書館のおすすめ本や行事、図書館の利用案内をしています。

◆行政チャンネル 文字放送

行政チャンネルの文字放送で休館や行事のお知らせをしています。

◆図書館入口ブラックボード

「図書館が暗く開館しているのかどうかわからない」という指摘があり、外から見て少しでも入りやすい雰囲気を作るためにブラックボードを使い始めました。本の紹介などを書くと、「外に書いてある本ある？」といった質問もされるようになりました。



定期的書き変えています。

◆ポスター・チラシ

行事や新しい事業のお知らせは、ポスターとチラシを基本としています。図書館だよりの配布時や各施設等にも掲示してもらっています。



それぞれの行事担当が作っています。

◆回覧板

チラシやポスターの周知効果をより高めるために回覧板を活用し、インターネットなどで情報収集しない方や普段図書館を利用されない方への情報発信としています。

◆役場ロビーにブックトラック設置

町内には図書館の場所を知らない人もおり、図書館の認知度が低いことを日々実感します。そこで、町民の来庁が多い役場本庁 1 階ロビーに図書館宣伝コーナーを設けました。広く図書館の存在をアピールし、来館者の増加を目的としています。

ここでは、図書館からの各お知らせのリーフレットの他、図書館の本を置き入れ替えを行っています。借りたい本があれば、利用者が図書館に持ってくることで貸出も行っていきます。

開始日 2021 年 6 月 2 日(水)～

配布物 図書館利用案内、おはなし会のチラシ、図書館だより

種類 一般書 10 冊 児童書 10 冊

入替日 毎月第 3 水曜日

毎月入れ替えに行くと、本が入れ替え時とは違う場所にあることや、面出した本が変わっていることが多々あり、本を読んでもらっていることがよくわかりました。実際に本を読んでいる方に出会ったこともあり、図書館には様々な本があることを知ってもらいきっかけにもなっていると感じました。利用者が図書館に本を持ってきて貸出を行うことも 1 回あり、来館に繋がったこともありました。



キッズスペースの横にあります。

【施設支援事業】

お出かけブックンの配送に留まらず、町内施設にある図書室の読書環境向上のために、支援を行っています。

◆町内小・中学校の図書室支援

司書が各学校図書室に来校し図書室業務の支援を行っています。

来校日数 小学校週1日半 中学校週1日

支援内容 来校時のカウンター業務（貸出・返却、レファレンス）

資料整備（選書、受入、廃棄、本の修理、館内清掃、書架整理）

読書推進（本紹介、テーマコーナー、図書だより作成、読書推進企画
ブックンぶんこ設置）

授業サポート（図書館資料提供、ブックトーク・読み聞かせ）

その他 教室への支援として団体貸出を実施

図書室年間報告等作成

週1回程度であるため支援には限界がありますが、各校にあった支援を続けています。図書委員会が行っている活動の支援や、司書独自で企画して本紹介や図書室クイズなども実施しています。それぞれの学校で取り組む内容は違いますが、どの学校も話しやすい人間関係、来やすい図書室づくりを意識して支援にあたっています。授業での読み聞かせやブックトークの団体を相手にする依頼も多いですが、個々の読書意欲、安心して過ごせる場所づくりが一番大切なことだと思っています。



三瀬谷小学校 「ほんちゃんプロジェクト」
読んだおすすめの本に、一言感想を書いてブック
ポケットに挟みます。
ほんちゃんを見つけた子は大喜び？！



宮川小学校 「みんなのオススメ！
クリスマスブックツリー」
クリスマスのオーナメントにオススメの本を書
いてもらいました。飾りでいっぱい！

◆大杉谷自然学校図書室リニューアル支援

大杉谷自然学校から、前年度に図書室（旧大杉小学校図書室）のリニューアル支援を依頼されました。どのように整備したらいいかを相談されましたので、できるだけ簡単な分類方法や配置を提案しました。現地に赴き説明しながら整備を一緒に行いました。

図書館からの支援は今年度で終わりましたが、現在も整備中で完成が楽しみです。



8月作業の様子（児童図書コーナーの整備）
廃棄する本と残す本を分けて、児童書は色丸シールで大まかに分類分けをしました。
（絵本・読み物・自然など）



作業前（一般書）



作業後（一般書）
大まかな内容で分類しました。



図書館のように数字ではなく、一目でわかるように、色や形で分けました。

【その他】

◆職業体験・インターンの受入

教育機関から職業体験やインターンの受け入れをしています。

今年度は、11月に宮川中学校から3名、12月に昴学園高等学校から3名来ていました。1～2日の短い時間ですが、司書の日常業務を体験してもらいました。



宮川中学校
ブラックボードを書
いてくれています。



昴学園高等学校
分類の基本を司書から
教わっています。

◆図書館設備・図書館システム

設備の不具合を減らしスムーズな図書館運営を行うための設備の定期的な更新や交換、利用者の要望に応えるための備品の要望をしています。

- ・ 閲覧室天井照明器具交換
- ・ 館内蔵書検索機（OPAC）にシール、レシート印刷機増設
- ・ システム更新
- ・ 学習室手元照明設置（他部署が使わなくなった備品で代用）
- ・ ブックトラック購入（役場ロビーに設置）
- ・ 小型プリンタ（職員用シール印刷・写真出力に使用）

◆新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として次のとおり継続しています。

- ・ 館内設備、返却図書、貸出袋のアルコール消毒
- ・ 来館人数確認のための入館札入れは職員で行う
- ・ 行事の入場制限、混雑が予想される行事は予約制
- ・ 職員のマスク着用

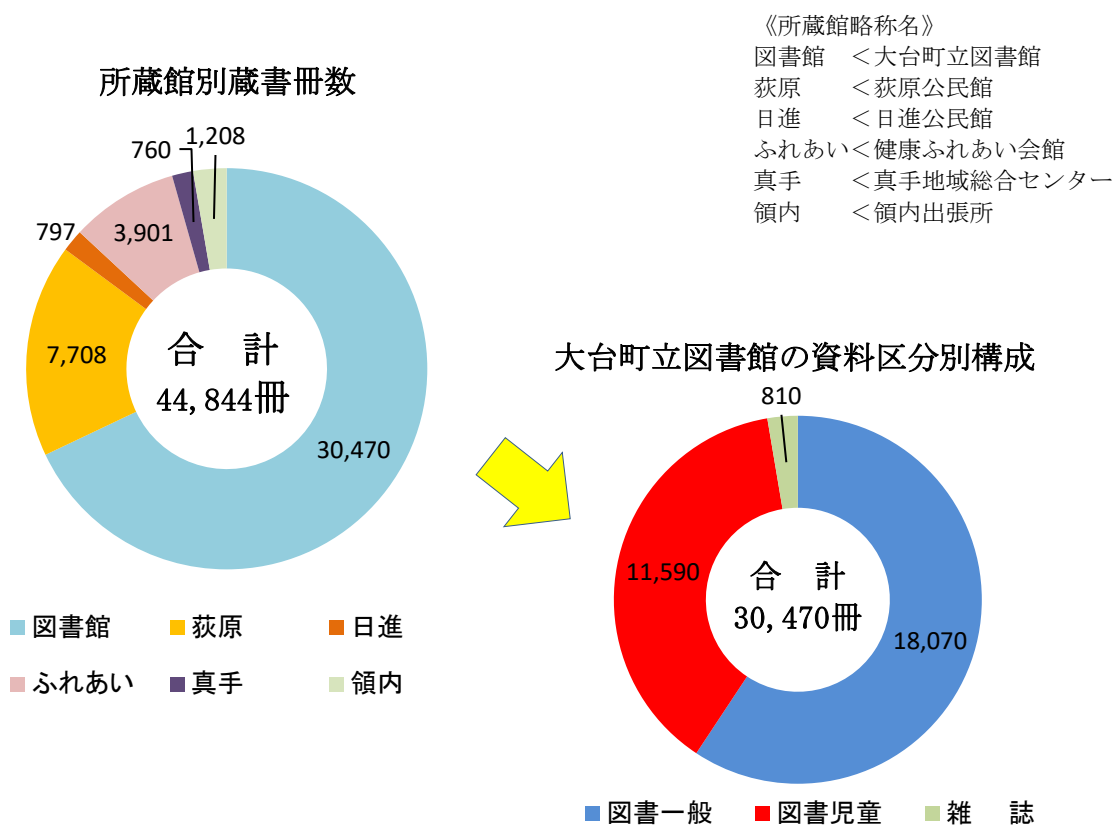
3. 状況報告

【資料所蔵状況】 (令和4年3月31日現在)

●所蔵館別の蔵書冊数

※各公民館にあるデータ未登録資料は含まず

	図書館	荻原	日進	ふれあい	真手	領内	合計
図書一般	18,070	4,784	391	2,683	383	153	26,464
図書児童	11,590	2,924	366	1,184	377	1,055	17,496
雑誌	810	0	40	34	0	0	884
合計(冊)	30,470	7,708	797	3,901	760	1,208	44,844



●資料の増減

※未登録資料は含まず

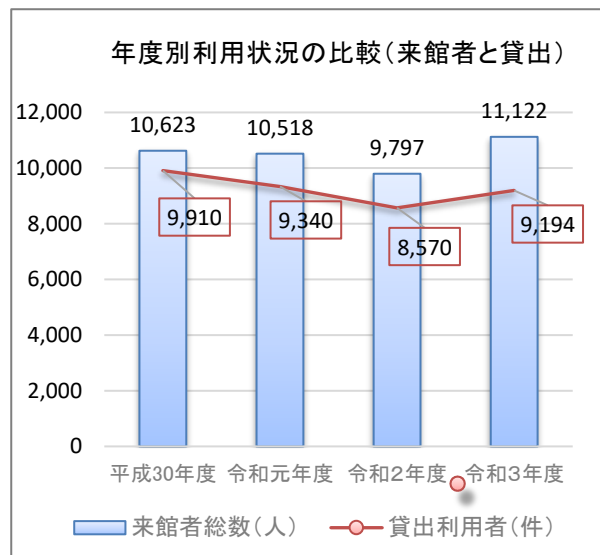
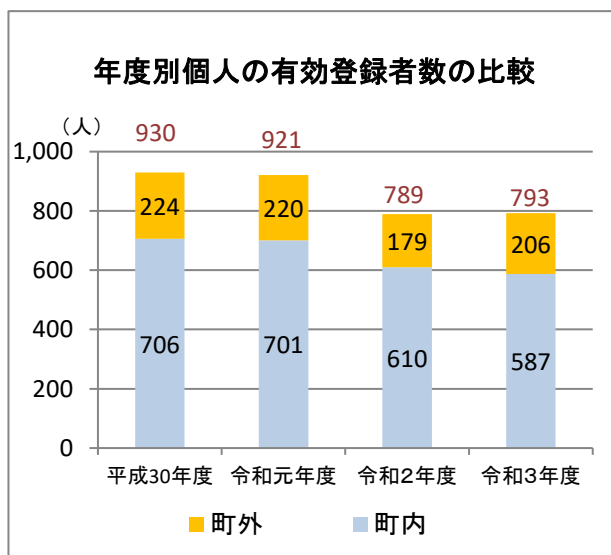
図書・雑誌	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
購入図書資料(冊)	1,750	1,560	2,741	2,027
購入雑誌資料(冊)	323	321	337	331
寄付・寄贈(冊)	121	70	28	13
除籍等(冊)	1,095	671	1,399	1,719
年度末蔵書数(冊)	41,182	42,461	44,169	44,844

【利用者状況】 (令和4年3月31日現在)

※有効登録者数は年度内に実際に登録または貸出利用した個人・団体のこと（登録のみを含む）

年 度			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
来館者総数(人)			10,623	10,518	9,797	11,122
有効登録者数(件)			1,054	1,035	905	918
有効登録件数 内訳	個人	町内	706	701	610	587
		町外	224	220	179	206
		計(人)	930	921	789	793
	団体	施設・団体	81	74	76	87
		相互貸借館	43	40	40	38
		計(件)	124	114	116	125
実利用者数(件) ()内は団体数			1,041(120)	1,005(109)	877(113)	892(121)
貸出利用件数合計(件)			9,910	9,340	8,570	9,194
貸出利用件数 内訳	個人	のべ人数	8,210	7,695	7,052	7,575
	団体	のべ数	1,369	1,327	1,213	1,371
	相互貸借	のべ館数	331	318	305	248
2Fマルチフロア利用者合計(人)			1,328	1,209	1,405	2,021
2F マルチフロア 内訳	個別学習コーナー		674	548	470	911
	多目的ルーム			219	286	571
	ランチタイム			59	34	94
	行事参加者総数		620	345	597	419
	校外学習		34	38	18	26

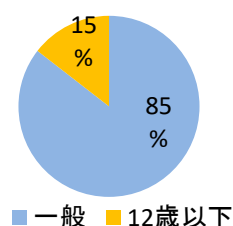
※多目的ルーム及びランチタイムの設置は令和元年から



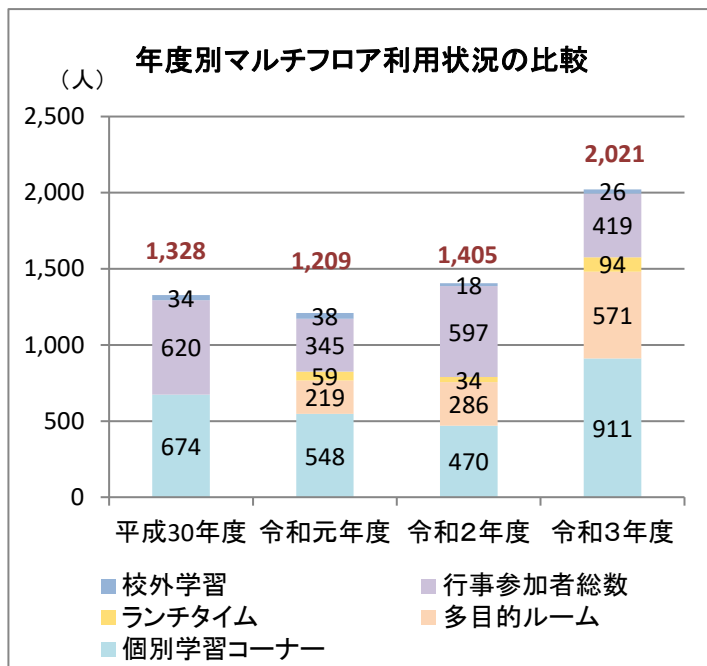
●個人利用対象者別有効登録者数

対象別有効登録者割合	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般	742	735	646	678
12歳以下	188	186	143	115
合計(人)	930	921	789	793

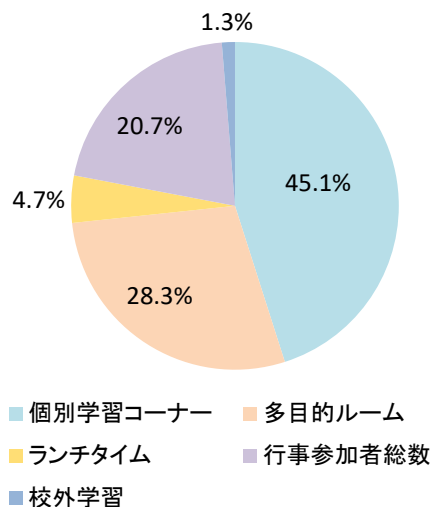
令和3年度対象者別有効登録者数の割合



●マルチフロア利用状況



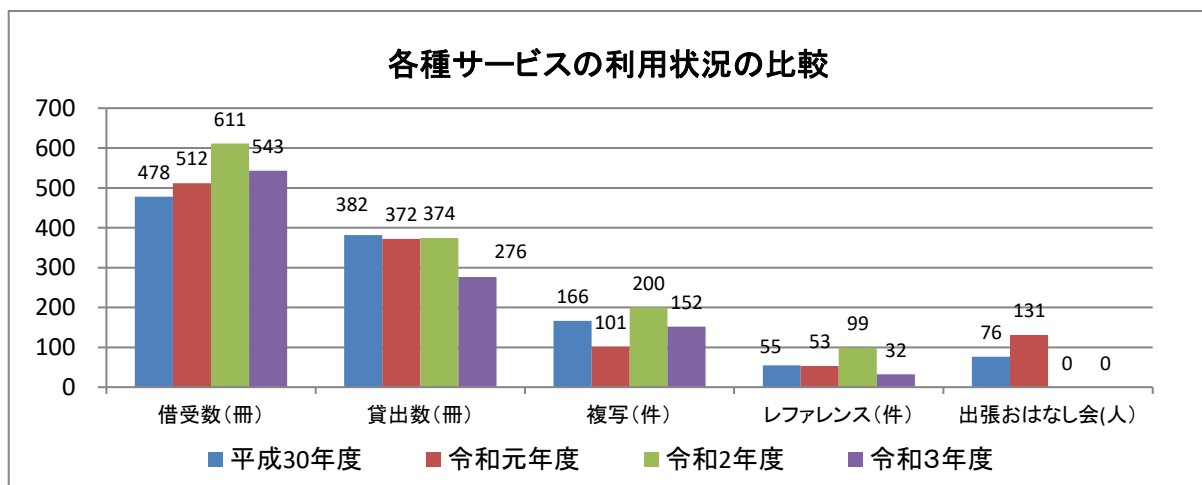
令和3年度利用目的の割合



●各種サービス利用状況

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相互貸借	借受冊数	478	512	611	543
	貸出冊数	371	374	374	279
複写(件)		166	101	200	152
レファレンス(件)		55	53	99	32
出張おはなし会参加者数(人)		76(7回)	131(10回)	0	0

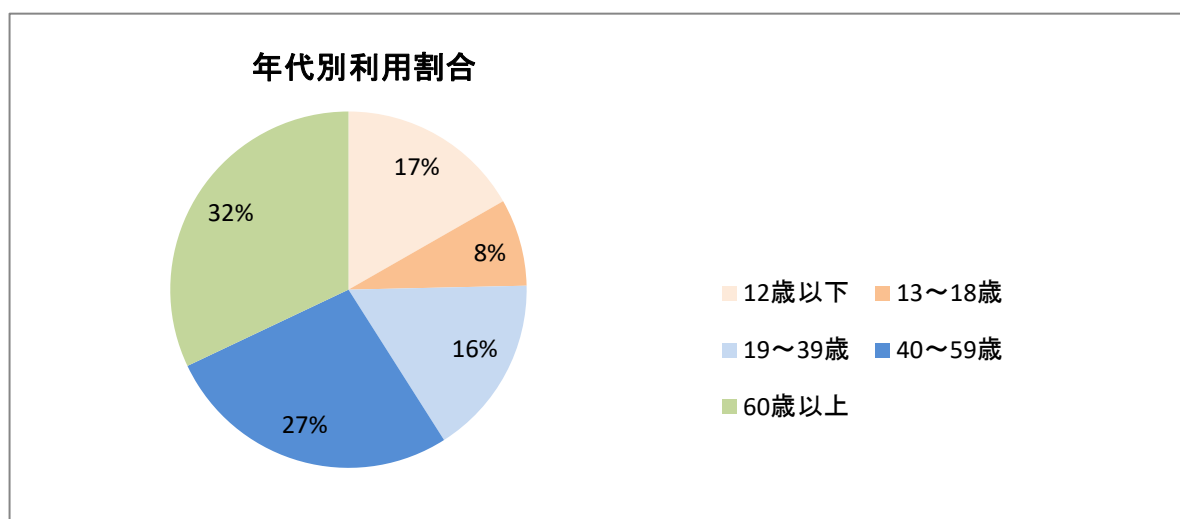
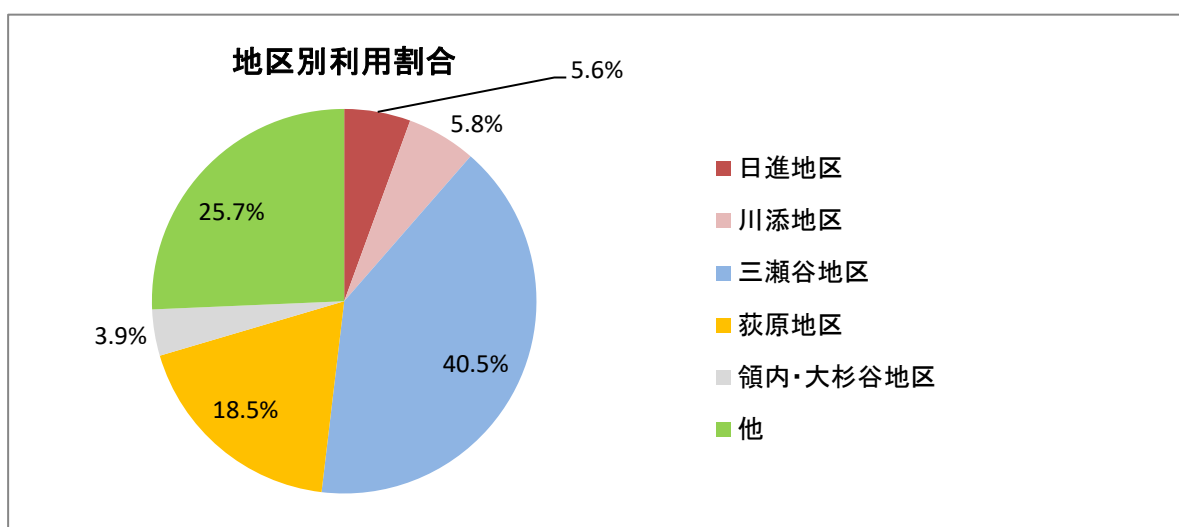
相互貸借[借受冊数]は、他館より借りた資料数
 相互貸借[貸出冊数]は、他館に貸出した資料数
 複写は、図書館資料のコピー依頼件数
 レファレンスは、司書への質問・相談件数
 出張おはなし会は、高齢者施設・障がい者施設・自主グループへの訪問おはなし会の実施数



【年齢別地区別個人の実利用者数】

年度内に貸出をした個人の地区別人数（団体含めず）

	12歳以下	13～18歳	19～39歳	40～59歳	60歳以上	地区合計	地区別利用
日進地区	12	3	7	11	10	43	5.6%
川添地区	6	5	5	15	14	45	5.8%
三瀬谷地区	64	23	56	73	96	312	40.5%
荻原地区	21	13	20	36	53	143	18.5%
領内・大杉谷地区	2	2	3	11	12	30	3.9%
他	24	15	35	62	62	198	25.7%
合計	129	61	126	208	247	771	100%
年代別利用	17%	8%	16%	27%	32%	100%	

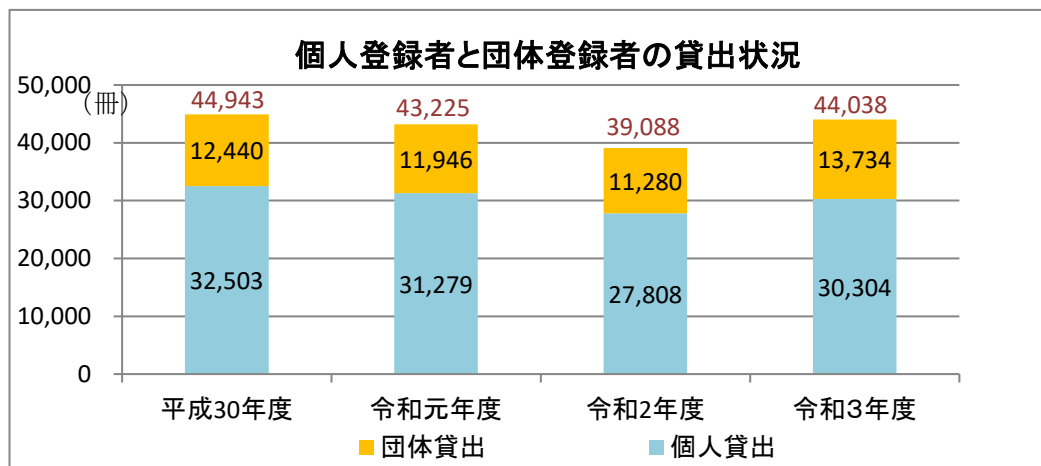


【貸出状況】 (令和4年3月31日現在)

●貸出冊数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
個人貸出	32,503	31,279	27,808	30,304
団体貸出	12,440	11,946	11,280	13,734
貸出合計(冊)	44,943	43,225	39,088	44,038

※ここでの団体貸出とは、団体登録者と相互貸借館への貸出を指す
ここでは貸出処理がされていない分の保育園セットの数を含まず

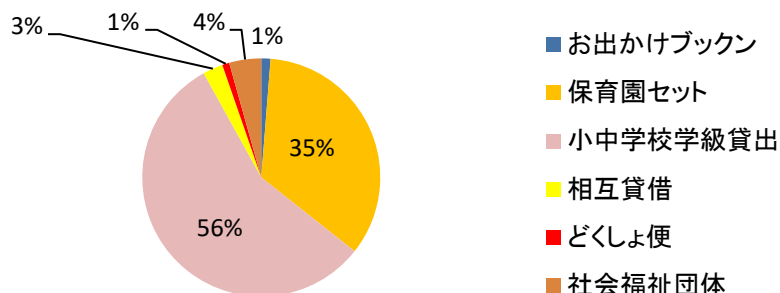


●非来館者の貸出方法内訳

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
お出かけブックン	55	85	72	127
保育園セット	3,000	3,000	3,480	3,480
小中学校学級貸出	5,200	5,200	5,700	5,700
相互貸借	382	372	374	276
どくしょ便			49	97
社会福祉団体				440
貸出冊数合計(冊)	8,637	8,657	9,675	10,120

※お出かけブックンは、図書館所蔵資料を各公民館・福祉施設に個人対象に配送した冊数を指す

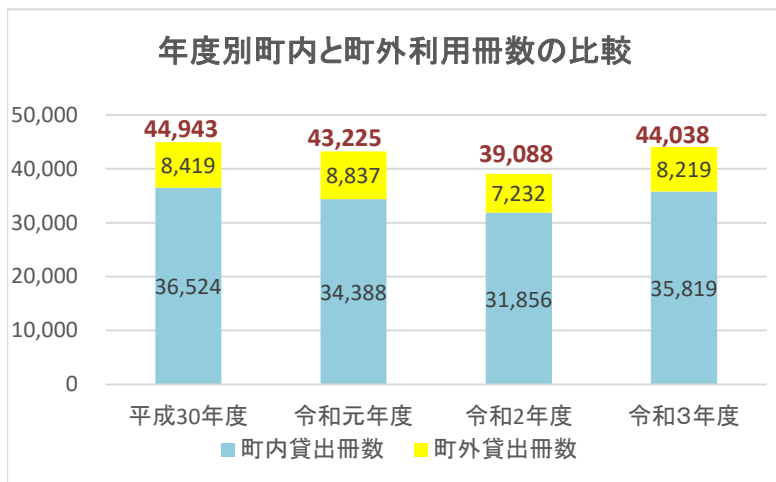
●令和3年度非来館者の利用方法割合



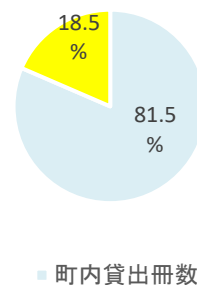
●町内利用と町外利用

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
町内貸出冊数	36,524	34,388	31,856	35,819
町外貸出冊数	8,419	8,837	7,232	8,219
貸出合計(冊)	44,943	43,225	39,088	44,038

※町外とは、大紀町在住者、町内在学・在勤者（他市町村在住）を指す
 それぞれ団体登録者も含む
 このデータは、保育園セットは貸出処理されないためカウント含めず



令和3年度 町内・町外貸出冊数の割合

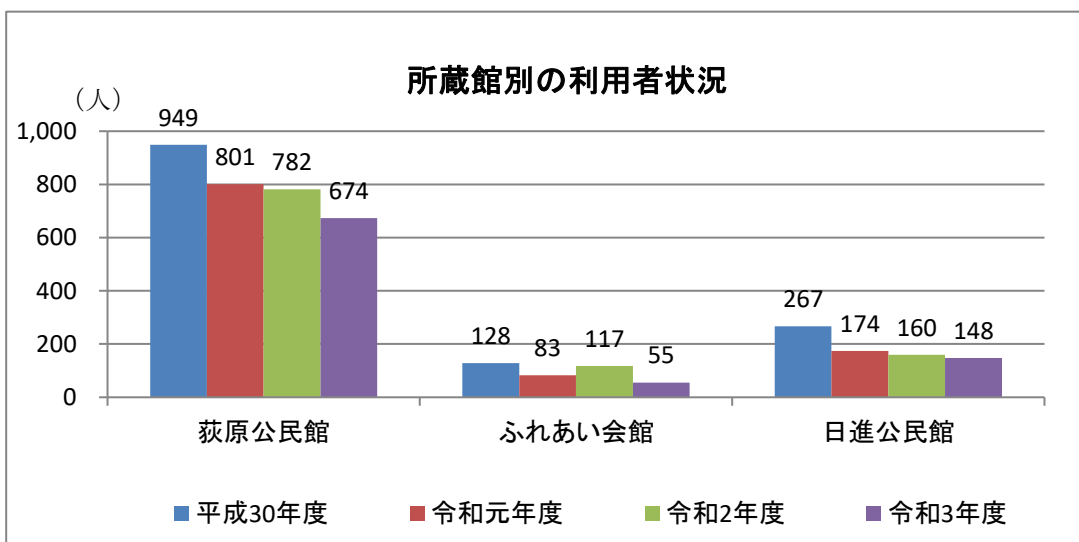


【公民館図書室利用状況】（令和4年3月31日現在）

●公民館図書室貸出利用者数

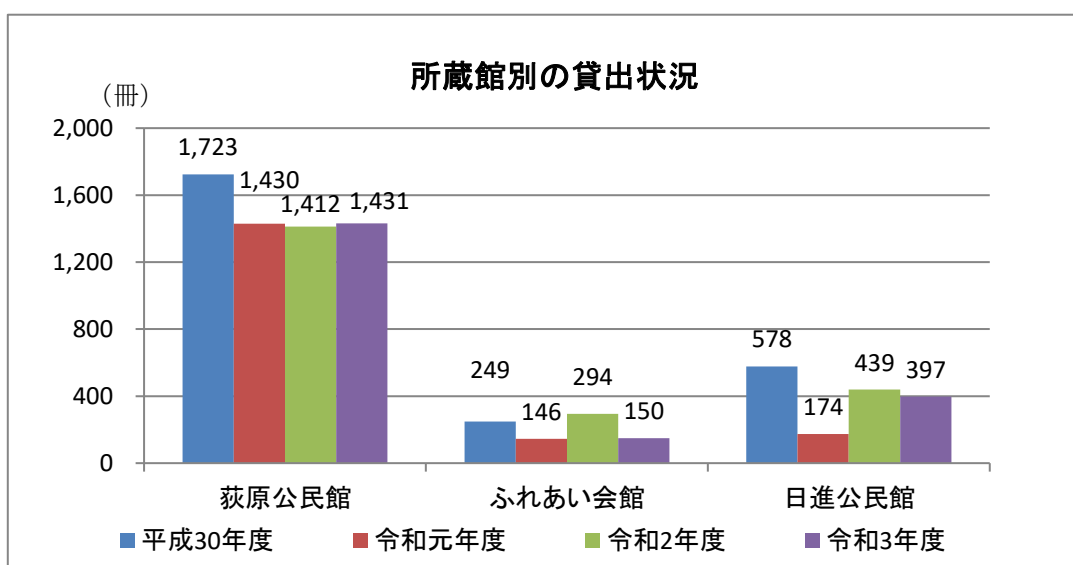
※公民館利用者の数には、お出かけブックンでの利用は含まれない

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
荻原公民館	949	801	782	674
ふれあい会館	128	83	117	55
日進公民館	267	174	160	148
利用者合計(人)	1,344	1,058	1,059	877



●公民館図書室貸出冊数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
荻原公民館	1,723	1,430	1,412	1,431
ふれあい会館	249	146	294	150
日進公民館	578	174	439	397
貸出合計(冊)	2,550	1,750	2,145	1,978



4. 経費・サービス指数

【令和3年度 予算】

(円)

図書費	3,160,000
雑誌・新聞費	399,000
その他	18,265,000
合計（図書館費）	21,824,000

【サービス指数】

『日本の図書館 統計と名簿2021』より
平均値を算出

[指標数値]

人口8千～1万人未満
の45町村の平均

町内有効登録率 (在勤・在学・町外をのぞく)	7.77%	町内有効登録数(672件) 人口(8,654人) x100	
町民1人当たりの貸出冊数	4.14冊	町内貸出冊数(35,819冊) 人口(8,654人)	4.23冊
個人の実利用者1件当たりの貸出冊数	49.37冊	貸出冊数(44,038冊) 個人の実利用者数(892件)	
町民1人当たりの蔵書冊数	5.18冊	蔵書冊数(44,844冊) 人口(8,654人)	8.44冊
町民1人当たりの年間図書 購入冊数	0.27冊	年間図書購入冊数(2,358冊) 人口(8,654人)	0.21冊
町民1人当たりの資料購入費	411.25円	資料費(3,559,000円) 人口(8,654人)	410円
町民1人当たりの図書館費	2,522円	図書館費(21,824,000円) 人口(8,654人)	
司書1人当たりの奉仕人口	1730.8人	人口(8,654人) 司書数(5人)	
蔵書回転率	0.98回	貸出冊数(44,038冊) 蔵書冊数(44,844冊)	0.50回

【基本数値】

人口8千～1万人未満
の45町村の平均

人口	8,654人	令和3年3月31日現在	8,978人
有効登録件数(施設団体含む)	918件	内、町内有効登録件数(672人)	
司書人数	5人		
貸出冊数	44,038冊	内、町内貸出冊数(35,819冊)	37,933冊
個人の実利用者数	892件	1年間で貸出利用した人数	
蔵書冊数	44,844冊		75,777冊
年間購入冊数	2,358冊	図書・雑誌	1911冊
資料費	3,559,000円	図書費+雑誌・新聞	3,682,400円
購入図書平均単価	1,559円	図書費÷購入図書冊数(2,027冊)	1,926円

※データ上未カウントの保育園セットは含まず

5. 課題と対策

【課題】

●行事

高齢者向けの定期行事として位置付けた「ぷらっと」が定着しつつあり、当初の目標であった、高齢者の貸出以外の利用を増やすという点で一定以上の成果を出しています。そして、行事の度に図書紹介を行うことで行事参加だけで留まることなく、関連図書の貸出にもつながっています。

一方でコロナ前には多かった児童対象の行事がほとんどなくなり、図書館で子供たちの姿を見かける機会が減少しました。今後の図書館の未来を考えると危機を感じます。

●資料

所蔵資料が4万冊を超えており、図書館と公民館図書室のスペースに余裕がありません。廃棄を毎年行うものの、資料的価値が損なわれておらず廃棄対象年数を迎えても必要と判断された資料については可能な限り廃棄を遅らせるため、蔵書は年々増加傾向にあります。一部の絵本資料などについては、保育園セットとして、書架に並べず倉庫に一時保管しながら活用できるようにしていますが、そのように保管できる資料やスペースは限られており、図書館に隣接する書庫の必要性が高まっています。

●利用状況

有効登録者数（年度内に登録か貸出利用した人数）は昨年度とほぼ変わらないものの、数年単位で見ると減少傾向にあります。しかしながら、来館者数は最も多くなっており、図書館利用の在り方が変化してきているといえます。一番の課題として考えられるのは、12歳以下の有効登録者数が大幅に減少しており、図書館への来館の減少とともに資料の貸出が減少している点です。未就学児においては、本人名義のカードで借りないことも多いのですが、その点は毎年度同じであるため、単純に小学生の利用が減少していると考えられます。

●非来館者への利用促進

図書館を利用している地域が偏っています。子どもや高齢者といった交通弱者の方はもちろん、図書館から遠い地域への利用促進を考えていく必要があります。

【対 策】

●行事

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら子ども対象の行事を再開します。その際に、関連図書の紹介も行い、図書館資料への関心を高めます。

親子で参加できる行事を計画し、家族における図書館への関心を高めます。

●資料

的確な資料廃棄を継続しつつ、書庫の増設を要望します。

●利用状況

行事で家族における図書館への関心を高めた上で、家族で来館したくなる企画や本紹介をします。

学校や保育園の「図書館見学」を促進し、子どもたちの図書館への関心を深めます。

子どもたちへの積極的な「読書手帳」の配布を行い、読書の関心を高めます。

●非来館者への利用促進

出張おはなし会を実施し、図書館への関心を高めます。

移動図書館の導入を目指し、移動図書館の有効性を調査します。

高齢者施設との連携を継続し、来館することなく資料を利用できる環境を維持します。